

ヤマトアオドウガネ *Anomala japonica* Arrow

【選定理由】

本種を含む海浜の砂浜に依存する甲虫は、砂浜の減少や護岸の影響を非常に強く受ける。県内の砂浜は改修が進み、また砂自体の流出による砂浜の減少、それに伴う海浜生植物の生育場所の減少などにより生息基盤が脆弱化している。

【形態】

体長 17.0～26.0mm。腹面は赤銅色、背面は緑色から銅褐色。上翅の側縁隆起は後半 2/3 で消失し、その後から側縁膜が始まる。腹部両側には長束毛があり、前尾節板の後縁には短毛を疎らに装う。

【分布の概要】

【県内の分布】

豊橋市、田原市、蒲郡市、常滑市。

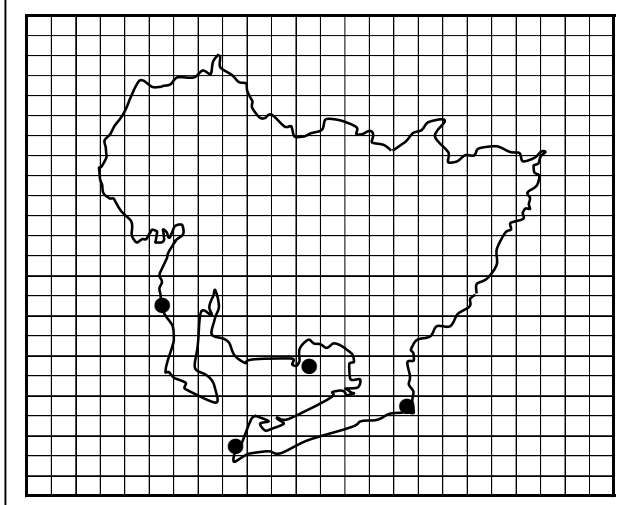
【国内の分布】

本州、佐渡島、隠岐諸島、伊豆諸島、四国、九州、五島列島、屋久島。

【世界の分布】

日本の固有種である。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

海岸よりの地域に多い。幼虫は砂地の流木下や草本の根際から見つかる。灯火によく飛来する。

【現在の生息状況／減少の要因】

砂浜のある海岸部近隣では比較的に見られるが、近縁のアオドウガネにおされているようである。砂浜の護岸などにより、生育場所である砂浜から続く草地自体が減少している。

【保全上の留意点】

砂浜の保全は当然であるが、砂浜から続く草地の保全が重要で必要である。

【関連文献】

- 松野更一・伴 憲隆・穂積敏文, 1990. 愛知県のコガネムシ科. 愛知県の昆虫, (上): 339-361. 愛知県.  
酒井 香・藤岡昌介, 2007. 日本産コガネムシ上科図説 第2巻 食葉群 1: 47. 昆虫文献六本脚.  
藤岡昌介, 2001. 日本産コガネムシ上科総目録: 104. コガネムシ研究会.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)